

中井櫻洲

あざな

漢詩人。

天保九年十一月薩摩國生れ、

明治二十七年

十月十日歿（八三六―九世）。舊姓横山、諱弘、字弘卿、幼名休之進、通

稱弘（二藏）。變名田中幸助、敏島雲城。別號澹暑河、雲城、櫻洲山人

等。藩費造十館の學。うち脱藩し、慶應二年後藤家の郎の援助で

キリ入に渡る。翌年歸國して伊豫の宇和島藩の出仕。國事の奔走し、

戊辰役では軍資調達の從事。明治五年歐米巡察。爾後は上野大書院の官、

滋賀縣知事、元老院議員、貴族院議員、京都府知事等歴任。

著書『漫遊日記』全三冊（明治十年十一月、二十六年版權免許、十一年

一月序跋、中井弘出版。異版・澁暑洞藏板、博文洞發賣・龍溪堂（賣）、

『櫻洲山人遺稿』全一冊（明治二十九年十月十日京都・横山詠太郎編

刊）等。